

最新医療の現場



看護力の向上を目指す、「愛と知と技のバランスのとれた看護職養成～自己啓発力を高め看護実践力向上を目指すプラン～」

徳島大学病院 看護部長
木田 菊恵 きだ きくえ

■問い合わせ 看護部 Tel.088-633-9212

■難関を突破した「優れた取り組み」の案

病院には、医師、看護師をはじめ実に多くの医療従事者が働いています。医療=医師というイメージが強いかもしれませんが、実際には患者さんにいちばん身近に接することが多いのが看護師です。本院では、先ごろ文部科学省の平成22年度「看護師の人材育成システムの確立」事業に申請していた、「愛と知と技のバランスのとれた看護職養成～自己啓発力を高め看護実践力向上を目指すプラン～」が採択されました。これは、全国の国公立大学から申請された34件の中から4件に選ばれるという難関を突破したもので、文部科学省が大学改革を進める補助金事業の一環です。

その目的と特色は次のとおりです。

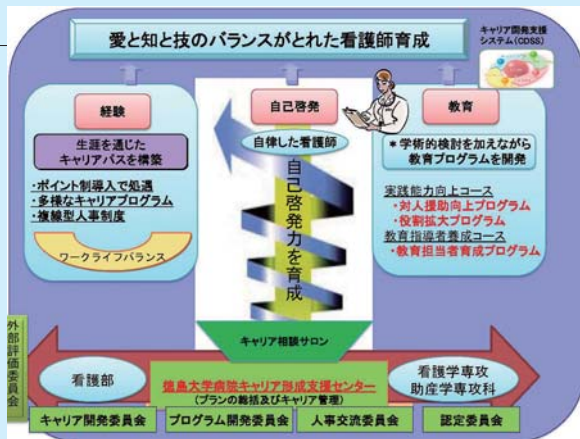
●看護部と大学の医学部保健学科看護学専攻等が連携し、教育プログラムを開発すると共に、看護職の多様なキャリアやめざすゴールまでの生き方を支援する環境を整える。また、それぞれの看護師が持つ能力、資質を高め、臨床現場で教育指導が効果的に実施でき、学生の実習指導、演習、講義ができる教育指導者を養成する。●看護人材成長を経験、教育、自己啓発の3要素とし、人事交流により経験と教育を連動させ、自己啓発力を高める人材養成システム

を整備する。●患者さんのニーズに沿った看護実践力の習得が可能になり、看護ケアに対する満足度向上が期待できる。●キャリアパスを構築することにより、多くの看護師が生涯にわたってやりがいや目的を持って働き続けられることが期待でき、それぞれが自分の職務の人生設計を描くことが可能になる。

事業期間は平成22年度から5か年間。

■看護職を生涯の仕事として向上していく

学生たちはそれぞれみんな理想に燃えて看護職に就きます。それを一生の仕事としていくには、自分の人生のなかでどう位置づけ、自分自身を高めながら将来を描いていくのが課題となります。そこで、キャリア支援、看護部の組織作りに取り組みつつ、大学はもちろん医師の先生方にも協力していただいてチーム医療を目指していきます。医療の高度化、多様化で看護職もまた実にいろいろな現場がありますから、それぞれ専門性も必要とされます。看護師の仕事は、日



↑本プランの事業概要

常業務、日々の出来事やトラブル対応などに追われる厳しい勤務環境です。しかし、そこで忙殺される埋没するのではなく、体系立てられた教育体制をつくって質の向上をはかると共に、個人の負担が大きかった指導面を改善し、教育指導が担当者のキャリアとして評価されるような仕組みづくりをめざしていきます。看護師の仕事は10年、20年、30年と続けてキャリアアップしていくことが、個人にとっても病院にとっても、そして地域社会にとっても大きな意味を持つことを、広くご理解いただきたいと願います。